

第25回 Working Party 5C会合 報告書（案）

1 WP5C 会議の概要

WP5C は、固定無線システム並びに 30MHz 以下の固定及び陸上移動業務のシステムに関する技術的検討を行っている作業部会である。

第 25 回 WP5C 会合は、2021 年 4 月 28 日（水）から 5 月 11 日（火）までの 10 日間（土日を除く）、リモート会議において開催された。本会議には、50 か国、51 機関から 323 名が参加し（5C/191）、日本からは別紙のとおり 11 名が出席した。全体議長 はこれまでに引き続き Pietro Nava 氏（Huawei）が、副議長は Brian Patten 氏（米国）と Haim Mazar 氏（ATDI）が務めた。

表 1 に示すとおり、前回から引き続き 4 つの Working Group（WG）が設置された。また、WRC-23 議題 9.1 topic c）に関しては前回の会合で合意した通り WP5A/5C Ad-hoc が設置された。WG5C-1 は Brian Patten 氏（米国）、WG 5C-2 は Nasarat Ali 氏（英国）、WG 5C-3 は Haim Mazar 氏（ATDI）、WG 5C-4 は大槻信也氏（日本）がそれぞれ議長を務めた。今回会合では入力された 53 件（日本からの 2 件を含む）の寄与文書について審議が行われた。Adhoc 9.1 topic c）では、WP5A 議長 J. Costa 氏と WP5C 議長が共同議長を務め、WP5A に入力された文書を含め合計 8 件の寄与文書について審議された。

本会合では 30 件の出力文書が作成され、1 件を Study Group（SG）5 に上程した。

- ・ 改訂勧告案 1 件
 - ITU-R 勧告 F.1777-1（5C/TEMP/75、5/41）

また、ITU-R の他の WP、ITU-T、外部組織宛てのリエゾン文書 11 件を発出したほか 16 件を議長報告に添付し¹、1 件の WG 議長報告（WG5C-3）をノートした。

尚、今会合では WRC-23 議題関連の共用検討に必要な技術特性、運用パラメータ及び保護基準に関するリエゾン文書をそれぞれの責任 WP に送付する締め切り（2021 年 7 月 26 日）前最後の会合となったことから、すべての WG についてこの作業が最優先課題とされた。

¹ 出力文書のうち WRC-23 議題 9.1 topic c）に関しては 2 件の TEMP 文書（Ad-hoc 議長報告（TEMP/87）と CG の ToR（TEMP/86））が 1 つの文書に統合され WP5C の議長報告に添付された。

表 1 WP5C の審議体制と出力文書数

グループ	担務内容	議長	今回会で入力された寄与文書数**	次回会で審議する作業文書数等	WPで承認したリエゾン文書数	SG5へ送付した文書数
WP5C (Plenary)	固定無線システム並びに30MHz以下の固定及び陸上移動業務のシステム	P. Nava (Huawei)	(合計 53) 6	(合計 16) 0	(合計 11) 0	(合計 1) 0
WG 5C-1	3GHz 以下の課題	B. Patten (米国)	19+5*	3	2	0
WG 5C-2	3GHz～86GHz の課題	N. Ali (英国)	24+1*	0	5	0
WG 5C-3	86GHz 以上の課題 3つのWGに関連のない 全般的な課題	H. Mazar (ATDI)	15+6*	6	4	0
WG 5C-4	既存勧告・報告の見直し	大槻信也 (日本)	5+3*	6	0	1
Ad-hoc 5A/5C A.I. 9.1. Topic c***	WRC-23 議題 9.1 Topic c に関する作業 (WP5A との共同 Ad-hoc)	J. Costa (WP5A 議長) P. Nava (WP5C 議長)	2	1	0	0

(*) 5C/135 (前回会合の報告)の Annex

(**) 複数のWGに割り当てられた文書を含むため、合計が一致しないことがある

(***) WP5Cに入力された文書数のみ (5C/ADM/22)。なお、Ad-hocにおける審議ではこれらとWP5Aに入力された文書 (6件)があわせて審議され、合計3件の文書が出力され、WP5A議長報告 (5A/359)に添付された (3.6項参照)

2 主要結果

本会合で最終化されSG5へ上程されたもの：

- ITU-R 勧告 F.1777-2 改訂案に関する審議
放送補助業務で用いるシステム特性と他業務との共用検討用のパラメータを規定するITU-R 勧告 F.1777-2 に、我が国から国内で標準化されたマイクロ波(6/7GHz 帯)及びミリ波(42GHz 帯)のUHDTV 伝送用 FPU のシステムパラメータの追加を提案し、2020年7月会合から作業が進められており、前回会合で改訂勧告草案とすることで合意されていた。今回会合では、日本から上記の改訂勧告草案を改訂勧告案に格上げし、SG5へ送付することを提案し承認された。

本会合で検討が進められたもの：

- ITU-R 報告 F.2416 の改訂に関する審議
ITU-R 報告 F.2416-0 (「275-450GHzにおけるpoint-to-point型固定業務アプリケーションの技術・運用上の特性およびアプリケーション」)の改訂に向けた作業文書に対し、我が国から275-445GHz帯における減衰特性について記述するため新設されたAnnex4の拡充のため別の種類のアンテナ放射パターンの追加を提案する寄与文書を提出した。今回会合では、我が国提案を追加したほか、Annex1 (275-445GHz帯における減衰特性)については記述の改善が必要であること、またタイトルのみ提案されていたAnnex5 (296-306 GHz、313-318GHz、及び333-356GHz帯における地球探査衛星業務(受動)の保護に関する特定の条件)を削除することで合意した。本文

書は継続審議のため議長報告に添付することで合意された。

- ITU-R 勧告 F.699 の改訂に関する審議

本件は、ITU-R 勧告 F.699-8 (100 MHz から 86 GHz における調整研究と干渉評価のための固定無線システム用アンテナ参照放射パターン) の適用の上限周波数帯を引き上げることなどを目的とした改訂を目指すものである。

今回合会では、ATDI から対応周波数帯の上限を現行の 86GHz から 330GHz へと引き上げ、作業文書から勧告改訂草案とすることが提案されたほか、我が国からは ITU-R 報告 F.2416 改訂と同様にカセグレンアンテナとコルゲートホーンアンテナの周波数 220GHz、250GHz、275GHz、300GHz、330GHz における放射パターンと、前回と今回追加された合計 4 種類のアンテナの物理寸法及び D/λ の数値をまとめた表を追加することを提案した。審議の結果、一部の実測値ではアンテナパターンと合っていないことなどが指摘され、改訂勧告案への格上げは見送られ、参加者には次回合会に向けて実測データを含めたさらなる寄与文書を提出することが呼びかけられた。

- ITU-R 勧告 F.758-7 改訂に関する審議

ITU-R 勧告 F.758 (固定業務のデジタル固定無線システムと他業務のシステムおよびその他の干渉源の共用もしくは両立性のためのシステムパラメータおよび基準の検討) の改訂に向けた作業文書については、現在各主管庁から提出された新たなパラメータの追加を続けており、今回合会ではカナダからの新たなパラメータを作業文書に追加した上で、次回合会で継続審議することで合意された。

- WRC-23 議題 9.1 Topic c に関する審議

WRC-23 議題 9.1 Topic c (固定業務に一次分配された周波数帯での固定ワイヤレスブロードバンドのための IMT システムの利用の研究) については、WP5A と WP5C の共同責任となっており、前回合会で合意した通り、共同アドホック会議が設置されて議論が行われた。

今回合会では、新たな ITU-R 勧告/報告の策定に関する提案、及び関連する既存勧告の改訂に係る内容の寄与文書等が提出されていたが、本議題で扱うべき範囲や作業の手順など、根本的な点について合意ができていないことなどから、オフラインでの協議も行うことができず、文書の内容の審議には至らなかった。

次回合会までに作業進捗のための体制を作ることを目指した Correspondence Group (CG) の設置が提案され、関連する用語について共通の理解を確立することを目指して活動することが合意された。

次回以降の合会においてはドラフト CPM テキスト、新勧告・報告または既存勧告の改訂などの作業が予定されている。

- 192-175 GHz 帯に関する新勧告の策定に関する審議

前回合会から作業が進められていた、チャネル及びブロック配置に関する勧告に向けた作業文書 (ITU-R F.[W-BAND]、ITU-R F.[D-BAND]) については、今回合会ではフランスから EESS (受動) 保護に関連して対象周波数帯における固定業務の不要放射レベルに関する記述を CEPT の文書を基に新たな Annex として追加することが提案された。

チャネル配置について記述する勧告に共用検討に関連する実質的な記述を含めることに対する慎重論が多く、前回同時に策定を開始していた 95.1-174.8GHz 帯で運用する固定業務の不要放射レベルに関する勧告を完成させ、それを参照する方法をとることで合意した。これら 3 件の勧告草案に向けた作業文書は同時に完成することを目標に、すべてを議長報告に添付することで合意した。

- ITU-R 決議 59-2 に基づく研究に関する審議（新報告作成に向けた研究の開始）
ITU-R 決議 59(地上 ENG システムが使用可能な周波数帯に関する世界的/地域的ハーモナイゼーションと使用条件の研究) が 2019 年に改訂され、WP5C がリードグループとして作業を進めることになっていたが、長らく作業が進捗していなかった。
今回合合では、ドイツからの寄与文書を、新報告草案 F.[AUDIO_PMSE_USAGE] に向けた作業文書として研究を開始することが提案され、合意された。また、WP6A に対して、情報を提供するよう依頼するリエゾン文書を送付した。
- WRC-23 議題関連のリエゾン対応
本合合では WRC-23 議題関連の共用検討に必要な技術特性、運用パラメータ及び保護基準に関するリエゾン文書をそれぞれの責任 WP に送付する締め切り（2021 年 7 月 26 日）前最後の会合となったことから、すべての WG についてこの作業が最優先課題とされた。各 WP で検討を行った結果、まだ情報提供を行っていなかったものと、追加の情報提供を行ったものを合わせて、8 つの議題に関連する固定業務を含む各種試験に用いる技術的特性と保護基準について知らせるリエゾン文書 7 件を策定して発出した。

3 審議内容

3.1 WP5C Plenary

(1) 議長： P. Nava (Huawei)

(2) 主要メンバー： N. Ali (英国)、H. Mazar (ATDI)、B. Patten (米国)、K. Arasteh (イラン)、小川、大槻、内田など約 100 名

(3) 入力文書：

Chairman's Report 5C/135 (WP5C 議長)
meet. 24

Texts to WP 5C 5C/181 (WP5C 議長)

WRC 関連 5C/141 (イラン)、5C/149 (WMO)、5C/190 (BR)

LS の Simplification 5C/143 (ATDI)

WRC 決議 731 関連 5C/139 (SG1,5,7 議長)

(4) 出力文書： TEMP/86、87

(5) 審議概要

WP5C Plenary は今会合期間中、4 月 28 日 (オープニング) と 5 月 10 日及び 11 日 (クロージング) の合計 3 回開催された。

3.1.1 前回Working Party 5C (2020年11月) の報告

前回会合 (2020 年 11 月) の議長報告 (5C/135) が説明され、承認された。

3.1.2 Offline Email Discussionによる作業の促進

カウンセラより、オンライン会合での議論の進捗を促進する目的で WP5D の会合で使用された Offline Email Discussion の方法について報告があった。この手法は、DG を設置する代わりに Convener と明確な作業範囲、締め切り日時を決めた上でメールでの議論を行うもので、議論の結果はそれを設置した親会議に報告され審議される。参加者同士の時差などを勘案し、WG 等で設置が決まってから参加者を募り議論を開始するまで 3 時間の期限を設けることが定められ、議論の開始後、十分に検討の時間を確保し拙速な議論とならないよう開始から最低でも 36 時間以上は確保することなどが決められている。現在進行している Discussion の一覧表が Sharefolder 内に保存され、連絡先などが周知された。

導入に異論はなかったが、時間に関する期限などについてはイランが実態に合わせて柔軟に運用すべきであるとしたこともあり、トライアルベースで利用することとなった。

3.1.3 WRC-23議題関連リエゾン文書について

WRC-23 議題の各責任グループに対して共用検討に必要な技術特性、運用パラメータ及び保護基準を提供する締め切りが 2021 年 7 月 23 日とされていることから、すべての WG についてこの作業が最優先課題とされた。

イランは CACE/955 に基づき、各議題の対象周波数帯におけるイランに存在する割り当て済み無線局数を示すリストを寄与文書として提出していた。また、BR からは WP からの要請に基づく MIFR に登録済み（または手続き中）の周波数割り当ての特性に関するデータが入力された（5C/190）。各 WG でまとめた情報に加え、これらの情報を参照するように依頼するため、すべての WRC-23 議題関連のリエゾン文書に共通するテキストが、WP 議長らによって策定された。また、WMO からは各 WRC-23 議題への WMO の見解が提出されており、情報として了知された。

3.1.4 検討成果

各 WG から 30 件の TEMP が送付された。1 件の文書が SG5 に送付され、11 件がリエゾン文書として発出された。

3.1.5 Ad-hocWRC-23議題9.1 topic c関連

WP5C の構成表（ADM/21）では、WRC-23 議題 9.1 topic c は WG5C-4 の欄に記載されていたが、WP5C でも別途議論を行うか等、会合毎に議論となることから、この表に新たな欄を設けて Ad-hoc を別建てとして、同 Topic についてはすべて、今回から設置された WP5A と WP5C の共同 Ad-hoc でのみ議論を行うことを明確にすることで合意した。

Correspondence Groupの設置について

最終プレナリでは、WP 議長から、Ad-hoc での活動の概要が提出され報告された（5C/TEMP/87）特段の質疑はなく情報として了知された。また、Correspondence Group（CG）の設置が提案されていることが説明され、Terms of Reference（ToR）案（5C/TEMP/86）が提示された。本案については WP5C のみによる承認で CG の設置が可能であるとのカウンセラからの助言を受け、作業の範囲に関する修正を行った上で WP5C として ToR を承認し、CG の設置で合意した。（詳しい議論については本報告書「3.6 WRC-23 議題 9.1 Topic c に関する Ad-hoc 会議」を参照）

3.2 WG 5C-1

- (1) 議長： B. Patten (米国)
- (2) 主要メンバー： P. Nava (Huawei)、 N. Ali (英国)、 R. Macchi (イタリア)、 H. Mazar (ATDI)、 熊原、 大槻など約 50 名
- (3) 入力文書：
- | | |
|--|--|
| HF ADAPTIVE HANDBOOK | 5C/135 Annex1 (WG5C-1 議長)、 5C/164 (中国) |
| ITU-RF.[CSA] 450-470 MHz | 5C/135 Annex5 (WG5C-1 議長)、 5C/156 (米国)、 5C/168 (フランス) |
| Resolution.59/PMSE | 5C/51 (ドイツ)、 5C/108 (WP6A)、 5C/121 (ドイツ)、 5C/122 (ドイツ)、 5C/123 (BBC)、 5C/144 (英国)、 5C/171 (イタリア) |
| WRC-23 議題関連 | 5C/141 (イラン) |
| 議題 1.4 (HIBS) | 5C/145 (WP5D)、 5C/149 (WMO) |
| 議題 1.5 (470-960 MHz) | 5C/135 Annex16 (WG5C-1 議長)、 5C/105 (TG6/1)、 5C/123 (BBC)、 5C/144 (英国)、 5C/146 (WP5D)、 5C/147 (WP5D)、 5C/149 (WMO)、 5C/171 (イタリア) |
| 議題 1.9 (aviation safety-of-life in HF bands) | 5C/63 (WP5B) |
| 議題 1.12 (new alloc. EESS 45 MHz) | 5C/149 (WMO)、 5C/178 (WP7C) |
| 議題 1.18 (new alloc MSS) | 5C/149 (WMO) |
| 議題 9,1a (space weather sensors) | 5C/149 (WMO) |
| Utility communications | 5C/137 (WP5A) |
- (4) 出力文書： 5C/TEMP/61、 62、 63、 64、 65
- (5) 審議概要

WG5C-1 は、3GHz 以下の課題について審議を行う WG である。同 WG は今会合期間中に 4 回開催され、合計 19 件の入力文書が審議された。この結果、出力文書 5 件が作成され、2 件がリエゾン文書として発出され、3 件は議長報告に添付された。

3.2.1 HF ADAPTIVE HANDBOOK関連

入力文書：5C/135 Annex1(WG5C-1 議長)、5C/164(中国)

出力文書：5C/TEMP/63

審議内容：

作業中の新ハンドブック草案「HF ADAPTIVE HANDBOOK(HF 帯の周波数適応通信システムに関するチュートリアル)」に向けた作業文書への改訂提案について議論された。中国からは新たに第2章に2.3「運用プロトコル」、及び第4章に「4.2 国際環境における運用」に関する内容が追加された(5C/164)。

ATDI からは、現時点で中身が記載されていないセクションについては削除すべきではないかとのコメントもあったが、本件の審議はまだ継続中である現状を鑑み、次回以降の寄与文書の入力を見て検討することで合意した。本文書は作業文書の状態で議長報告に添付された(5C/TEMP/63、5C/192 Annex 1)。

3.2.2 新報告草案ITU-R F.[CSA] (450-470 MHzで運用される中央警報システムの技術特性) 関連

入力文書：5C/135 Annex5(WP5C 議長)、5C/156(米国)、5C/168(フランス)

出力文書：5C/TEMP/61

審議内容：

新 ITU-R 報告草案 F. [CSA] (450-470 MHz の固定業務周波数帯で運用する無線周波数の中央警報システム (Central Station Alarm) の技術的及び運用特性) は、前回議長報告に添付された新 ITU-R 報告草案 (5C/135 Annex5) に、米国からエディトリアルな修正と、作業を完成して新報告案として SG5 に上程することが提案された (5C/156)。これに対し、フランスからは現状では特定の国内において、特定の周波数帯でのみ運用される CSA について記述された内容となっており、ITU-R 報告に相応しいグローバルな内容とは言えないとして、本報告を急いで承認する必要はないとの見解が提出された (5C/168)。

これに対し、ロシアからはフランスの見解を支持する旨が表明された。さらに前回会合で同国が懸念点として示した①仰角方向の放射パターンに関する情報の不足、②干渉基準と保護基準の適用方法に係る不明瞭性の 2 点のうち、②については改善したものの、①については解決していないとの見解が示された。

WG 議長は、本件は全研究会期において WRC 議題に関連して WP7B で作業された ITU-R 報告 SA.2429 (460-470 MHz 帯の METSAT (宇宙から地球) への二次分配から一次分配への変更と EESS (宇宙から地球) への一次分配追加の提案に関連する検討) の中で言及されていた固定業務のシステムについて問い合わせがあったことから開始された研究であり、この ITU-R 報告についてはロシアやフランスも合意していると述べた。ロシアはこの経緯については承知しているが、新報告草案の SG5 への上程は支持しない旨を改めて表明し、フランスも前研究会期の研究はすでに完了しており、現在、承認を急ぐ理由はないとの見解を改めて主張した。

Offline Email Discussion (Convener : WG 議長) が設置されて関係する 3 か国が参加する協議が行われた結果、新たに前述のフランスの懸念について列挙する Editor's Note が付加された。また、ロシアの懸念に応える形で、パラメータ表に高利得アンテナの場合の仰角と減衰に関する注釈が追加されたが、注釈中の仰角の値と、表中の干渉基準の値についてはまだ検討が必要であることが報告され、次回以降に作業を継続することで合意した。このため SG5 への送付は次回以降に見送られ、議長報告に添付してキャリアフォワードされることとなった(5C/TEMP/61、5C/192 Annex 5)。WG5C-1 議長は、米国以外のシステムも追加できるように各主管庁に文書の入力と呼び掛ける内容を議長報告に含めることに合意した。

3.2.3 ITU-R決議59-2/PMSE関連

入力文書：5C/51（ドイツ）、5C/108（WP6A）、5C/121（ドイツ）、5C/122（ドイツ）、5C/123（BBC）、5C/144（英国）、5C/171（イタリア）

出力文書：5C/TEMP/64、65

審議内容：

ITU-R 決議 59-2（地上 ENG システムが使用可能な周波数帯に関する世界的/地域的ハーモナイゼーションと使用条件の研究）に基づく研究が WP5C の所掌となっていることから、ドイツから新たな ITU-R 報告の策定に関する提案が過去に 2 回提出されていたが（5C/51、5C/121）、これまで実際の作業は開始されておらず、寄与文書がそのままキャリアフォワードされていた。また、ドイツは次回 RA に対して ITU-R 決議 59-2 の改訂提案を行うことも視野に入れた上で、今後の作業の進め方についても提案した経緯がある（5C/122）。

本件に関連して、WP6A からは同決議に関連する B シリーズの ITU-R 勧告と報告の見直しが進められていることを通知すると共に、WP5C での作業の進捗を知らせるよう依頼するリエゾン文書が送付されていた（5C/108）。

WG 議長より、ドイツの寄与文書をベースに新報告草案 F.[AUDIO_PMSE_USAGE]に向けた作業文書を作成し、研究を開始する旨の提案があり、新たな作業文書が作成された。

また、議題 1.5 関連で入力されていた BBC(5C/123)、英国(5C/144)及びイタリア(5C/171)の文書についても関連する内容であるとして今後の作業で活用することとし、作業文書の巻末にリストアップすることで合意した。このような審議を経て作業文書は議長報告に添付され、次回以降作業を進めることとなった（5C/TEMP/65、5C/192 Annex 11）。

WP6A に対してはこの作業文書について通知し、コメントを求めるリエゾン文書を策定することが一旦合意され、リエゾン案が策定された（5C/TEMP/64）。しかし UAE が本件に関する作業文書の策定は合意されていないと発言し、リエゾン文書での言及に反対したことから、リエゾン文書は ITU-R 決議 59-2 についての作業を行っていることのみを伝える内容となった。また、関係する WP として WP1B と WP5A に情報としてコピーすることも提案されていたが、UAE が時期尚早であると反対したことから、WP6A のみに発出された（6A/184）。

3.2.4 WRC-23議題1.4（2.7GHz以下 の IMT 特定された周波数帯におけるIMT基地局としての高高度プラットフォームステーション利用の検討）関連

入力文書：5C/145（WP5D）

出力文書：なし

審議内容：

WP5D からのリエゾン文書（5C/145）が送付されているが、該当する周波数帯には固定業務が存在せず、特段提供できる情報がないため、WP5C としてはリエゾン文書の送付を行わないことで合意した。

3.2.5 WRC-23議題1.5（第一地域における470-960 MHz帯の既存業務の周波数利用と周波数需要の見直しとこれに基づく規則条項の検討）関連

入力文書：5C/135 Annex16(WG5C-1 議長)、5C/105(TG6/1)、5C/123(BBC)、5C/144（英国）、5C/146(WP5D)、5C/147(WP5D)、5C/171（イタリア）

出力文書：なし

審議内容：

WP5D から、共用検討に必要な情報提供を求めるリエゾン文書（5C/145）が送付されており、WP5D 宛のリエゾン文書の策定が検討された。WP5A との共同リエゾン文書を策定する案も出されたが、WP5A の担当 WG（WG5A-4）議長との非公式の協議の結果、該当す

る周波数帯には固定業務が存在しないことから、WP5C としてはリエゾン文書の送付を行わないことで合意した。

尚、本議題関連で提出された BBC (5C/123)、英国 (5C/144) 及びイタリア (5C/171) の寄与文書については ITU-R 決議 59-1 関連文書として次回にキャリアフォワードされることで合意した。

3.2.6 WRC-23議題1.9 (航空移動業務に割り当てられたHF帯における民間航空の人命保護のためのデジタル技術の導入とアナログシステムとの共用のためのRR付録 27 の見直しと規制条項の検討) 関連

入力文書 : 5C/63(WP5B)

出力文書 : 5C/TEMP/62

審議内容 :

2850kHz-22000kHz の関連情報の提供を求める WP5B からのリエゾン文書 (5C/63) が前回会合からキャリアフォワードされていたが、現状では ITU-R 勧告・報告等にはこの周波数帯における固定業務の特性が含まれていない状況にある。米国から、この周波数帯に関連する F.シリーズの勧告・報告をすべて WP5B に知らせることが提案され、リエゾン文書が策定された (5C/TEMP/62, 5B/344)。

3.2.7 WRC-23議題1.12 (45MHz帯衛星搭載レーダーサウンダーのための地球探査衛星業務 (能動) への新規二次分配のための検討の実施) 関連

入力文書 : 5C/178(WP7C)

出力文書 : なし

審議内容 :

WP7C から、本議題について以前 WP5C から送付したリエゾン文書にある情報が更新されている場合、これに関する情報共有を求めるリエゾン文書が送付された (5C/178)。これについて、特に現時点で返答すべき内容がないとして、送付されたリエゾン文書は情報として了知され、返答はしないことで合意した。

3.2.8 ユーティリティ通信システム (UCS) に関する新報告草案ITU-R M.[UCS]関連

入力文書 : 5C/137(WP5A)

出力文書 : なし

審議内容 :

WP5A から、同 WP で作業中の新報告草案 ITU-R M.[UCS] (「ユーティリティ通信システム (UCS : Utility Communications Systems)」) に向けた作業文書の進捗状況を報告し、必要であればコメントを求めるリエゾン文書が送付された (5C/137)。本件について、特に寄与文書もなく、参加者からのコメントもなかったことから、リエゾン文書は情報として了知し、返信はしないことで合意した。

3.3 WG 5C-2

(1) 議長： N. Ali(英国)

(2) 主要メンバー： P. Nava(Huawei)、 B. Patten(米国)、 H. Mazar(ATDI)、 日本(熊原、内田、大槻)など約 50 名

(3) 入力文書：

WRC-23 議題関連	5C/141 (イラン)
議題 1.1 関連	5C/151 (WP5D)
議題 1.2 関連	5C/135 Annex16 (WP5C 議長)、5C/109(WP5D)、5C/149 (WMO)、5C/150 (WP5D)、5C/155 (WP7B)、5C/160 (ロシア)、5C/167 (Huawei)、5C/177 (WP7C)
議題 1.3 関連	5C/149 (WMO)
議題 1.10 関連	5C/140 (WP5B)、5C/149 (WMO)、5C/185 (WP3K,3M)
議題 1.13 関連	5C/135 Annex16 (WP5C 議長)、5C/83 (WP7B)、5C/149 (WMO)、5C/157 (米国)
議題 1.15 関連	5C/148 (WP4A)、5C/149 (WMO)、5C/163 (カナダ)
議題 1.16 関連	5C/135 Annex16 (WP5C 議長)、5C/133 (WP4A)、5C/149 (WMO)、5C/157 (米国)、5C/175 (WP7C)
議題 1.17 関連	5C/135 Annex16 (WP5C 議長)、5C/131 (WP4A)、5C/149 (WMO)、5C/154 (WP7B)、5C/157 (米国)、5C/163 (カナダ)、5C/174 (WP7C)
議題 1.19 関連	5C/135 Annex16 (WP5C 議長)、5C/130 (WP4A)、5C/157 (米国)
議題 9.1 topic a)関連	5C/149 (WMO)
議題 9.1 topic d)関連	5C/149 (WMO)、5C/180 (WP7C)
WRC 決議 731 関連	5C/179 (WP7C)、5C/139 (SG1,5,7 議長)

(4) 出力文書： 5C/TEMP/66、67、68、84、85

(5) 審議概要

WG5C-2 は、3GHz~86GHz の課題について審議を行う WG である。同 WG は今会合期間中 7 回開催され、24 件の入力文書（他 WG との重複分含む）が審議された。この結果、出力文書 5 件が作成され、すべてリエゾン文書として発出された。議長報告に添付された文書はなかった。

尚、前回会合では本 WG で審議されたチャンネル配置勧告関連の審議は今回会合においては WG5C-4 で行われた。

3.3.1 WRC-23議題1.2 (3300-3400 MHz、3600-3800 MHz、6425-7025 MHz、7025-7125 MHz及び10.0-10.5 GHz帯における移動業務への一次分配を含むIMT 特定の検討) 関連

入力文書： 5C/135 Annex16 (WP5C 議長)、5C/109(WP5D)、5C/150 (WP5D)、5C/155 (WP7B)、5C/167 (Huawei) 5C/160 (ロシア)、5C/177 (WP7C)

出力文書：5C/TEMP/67

審議内容：

WRC-23 議題 1.2 に関して、責任 WP である WP5D から共用検討に必要な技術特性、運用パラメータ、保護基準について情報提供を求めるリエゾン文書（5C/109）が送付され、WP5C はすでに 2020 年 8 月に関連する ITU-R 勧告・報告のリストを WP5D 宛に送付している（5D/233）。本議題に関し、今回、WP5D から rural 環境、urban 環境のシナリオ毎のパラメータ提供を求めるリエゾン文書が送付された。（5C/150）これに関連して Huawei がリエゾン案の草案を提案（5C/167）し、またロシアは国内と RCC 諸国において、6425-7125MHz 帯で使用している FS 局の都市と郊外のパラメータをまとめた内容を寄与文書として提出した（5C/160）。

WP5D からは、rural 環境、urban 環境のシナリオ毎のパラメータを提供することが求められていたが、固定業務においてはこのような環境の定義を使用することがなく、勧告や報告においてもその区別を行っていないことから、そのようなパラメータの定義を行うことが難しいことが指摘された。

これらの議論を経てリエゾン文書案の策定は Offline Email Discussion（Convener：Huang 氏（Huawei））を設置して審議することとなった。

議論の結果、今回策定したリエゾン文書では「事例」として Urban と Rural のシナリオを 2 件ずつ例示した上で、これらがあくまでも例示されたものであり、実際にはこれらとは異なるパラメータが使用されている場合があること、ITU-R 勧告 F.758-7 を参照すべきであることなどを追記したリエゾン文書を発出することで合意した（5C/TEMP/67、5D/583）

尚、WP7B からのリエゾン文書（5C/155、177）は、WP5D 宛の返答であり WP5C としてはアクションを求められていないことから、情報として了知された。

3.3.2 WRC-23議題1.13 (14.8-15.35 GHz帯に二次分配されている宇宙探査業務の一次分配への格上げの検討) 関連

入力文書：5C/135 Annex16 (WP5C 議長)、5C/83 (WP7B)、5C/157 (米国)

出力文書：5C/TEMP/84

審議内容：

議題 1.13 に関連した WP5B からの技術特性、運用パラメータ、保護基準に関する情報を求めるリエゾン文書 (5C/83) を受け、返信リエゾン文書案の審議が開始されていたが、前回会合では合意できなかったことから、リエゾン文書案が議長報告に添付されキャリーフォワードされていた (5C/135 Annex16)。これに対し米国が原案中の背景説明のパラグラフをすべて削除する提案を行った (5C/157)。

リエゾン文書案の策定は、議題 1.13、1.16 & 1.17、1.19 を一括して扱う Offline Email Discussion (Convener: Mullinix 氏 (米国)) を設置して議論が行われた。

前回から持ち越されたパラメータについては、カナダが TX output power range の -40dBW という値について低すぎるとの懸念を示したが、数値を提供したエリクソンからこれが ATPC を使用したシステムである場合にこの程度まで下がる可能性があるとの説明があった。このため ITU-R 勧告 758-7 から引用していた元の値に戻し、ATPC を使用しているシステムでは TX output power range の値が固定されず、使用していないシステムよりも大幅に低い値である場合がある旨を説明するパラグラフを策定することで合意した。

また、ロシアが Receiver noise figure typical と Receiver noise power density typical の値について別の値を提示したことから、これらの値はロシアが提示した値と元の値を並列で記述し、パラメータ表には他の固定業務の条件とともに使用されるべきとの注釈を追加することで合意し、リエゾン文書は WP7B 宛に発出された (5C/TEMP/84、7B/118)。

3.3.3 WRC-23議題1.15 (固定衛星業務の静止軌道衛星局と通信する航空機及び船舶上の地球局による12.75-13.25GHz帯 (地球から宇宙) の利用の調和) 関連

入力文書：5C/148 (WP4A)、5C/163 (カナダ)

出力文書：5C/TEMP/85

審議内容：

WRC-23 議題 1.15 に関連した WP4A からの技術特性、運用パラメータ、保護基準に関する情報を求めるリエゾン文書 (5C/148) に対し、返信することが提案されていた。本議題に関連した情報提供のためのリエゾン文書はすでに前回までに WP4A 宛に発出済みであることから、追加情報の提供が検討された。

返信リエゾンに関する審議は Offline Email Discussion (Jean-Yves Bernard 氏 (カナダ)) を設置し、カナダ、ドイツ、英国などが参加して進められた。その結果、前回までに送付したパラメータの内、ITU-R 勧告 F.497 をベースとした 512QAM システムのアンテナ利得の値が修正されていることを知らせることとし、変更点を含めた表を作成して添付すること、また、ITU-R 勧告 F.2086 の値も参考とすべきである旨を含めたリエゾン文書を策定し、WP4A 宛に発出することで合意した (5C/TEMP/85、4A/265)

3.3.4 WRC-23議題1.16 (非静止軌道における固定衛星業務の移動する地球局による17.7-18.6GHz、18.8-19.3GHz 及び19.7-20.2GHz並びに27.5-29.1GHz及び29.5-30 GHzの使用のための研究及び技術・運用・規則面の手段の検討)、及び議題1.17 (特定帯域における衛星間リンクの規則に対する衛星間業務への分配追加による適切な規則条項の決定と実施) 関連

入力文書：5C/135 Annex16 (WP5C 議長)、5C/131 (WP4A)、5C/133 (WP4A)、5C/154 (WP7B)、5C/157 (米国)、5C/163 (カナダ)、5C/174 (WP7C) 5C/175

(WP7C)、

出力文書：5C/TEMP/68

審議内容：

WRC-23 議題 1.16 と 1.17 に関連した WP4A からの技術特性、運用パラメータ、保護基準に関する情報を求めるリエゾン文書 (5C/131、133) に対し、返信することが提案されている。送付先が同じで扱われている周波数帯が重複することからこれら 2 つの議題については、まとめて WP4A 宛に返信することとした上で、前回会合では合意できなかったリエゾン文書案が議長報告に添付されキャリアフォワードされていた (5C/135 Annex16)。これに対し米国が原案中の背景説明の部分をすべて削除する提案を行った (5C/157)。リエゾン文書案の策定は、議題 1.13、1.16&1.17、1.19 を一括して扱う Offline Email Discussion (Convener：Mullinix 氏 (米国)) を設置して原案の策定が行われた。

このリエゾン文書についても、議題 1.14 関連リエゾン文書と同様に ATPC を使用するシステムについては、TX output power range の値が固定されず、使用していないシステムよりも大幅に低い値である場合がある旨を説明するパラグラフを追加した。また、ITU-R 勧告 F.2086 (固定業務における point-to-point システムのデプロイメントシナリオ) の参照が追加されたリエゾン文書は WP4A 宛に発出することで合意した (5C/TEMP/68、4A/264)。

3.3.5 WRC-23議題1.19 (第二地域における17.3-17.7 GHz 帯の宇宙から地球方向の固定衛星業務への新規一次分配の検討) 関連

入力文書：5C/135 Annex16 (WP5C 議長)、5C/130 (WP4A)、5C/157 (米国)

出力文書：5C/TEMP/66

審議内容：

WRC-23 議題 1.19 に関連して WP4A から受領した技術特性、運用パラメータ、保護基準に関する情報を求めるリエゾン文書 (5C/130、148) への返信について、前回会合では合意できなかったリエゾン文書案が議長報告に添付されキャリアフォワードされていた (5C/135 Annex16)。これに対し米国が原案中の背景説明のパラグラフをすべて削除する提案を行った (5C/157)。

リエゾン文書案の策定は、議題 1.13、1.16&1.17、1.19 を一括して扱う Offline Email Discussion (Convener：Mullinix 氏 (米国)) を設置して原案の策定が行われた。

このリエゾン文書においては、パラメータ以外について議題 1.16 及び 1.17 関連のリエゾン文書と全く同一であり、ATPC を使用するシステムについては、TX output power range の値が固定されず、使用していないシステムよりも大幅に低い値である場合がある旨を説明するパラグラフを追加した (5C/TEMP/66)。リエゾン文書は WP4A 宛に発出することで合意した (4A/267)。

3.3.6 WRC-23議題9.1 Topic d) (36-37 GHzにおけるNGSO宇宙局からのEESS保護) 関連

入力文書：5C/180 (WP7C)

出力文書：なし

審議内容：

WRC-23 議題 9.1 Topic d) に関連して WP7C が責任グループである WP4A 宛に送付したリエゾン文書 (5C/180) が情報として WP5C にも送付されたが、特にアクションは求められていないことから情報として了知した。

3.3.7 その他のWRC23議題関連リエゾン

入力文書：5C/140 (WP5B)、151 (WP5D)

出力文書：なし

審議内容：

以下のリエゾン文書については、WP5C には情報としてコピーされており特段の対処が必要ないことから、情報として知された。

文書番号	発出元	議題	概要
5C/140	WP5B	1.10	WP3M 宛にの共用検討に必要な空中-宇宙および陸上-宇宙の伝搬モデルを含む適した ITU-R 勧告に関する情報を提供することを要請するリエゾン文書
5C/151	WP5D	1.1	WP5B 宛に、議題 1.1 に関連する作業の進捗状況を知らせ、公海・公空上で 4 800-4 990 MHz 帯で運用される AMS と MMS システムのデプロイメントシナリオと特性について追加の情報が必要であるとして情報を求めるリエゾン文書

3.3.8 WRC決議731に基づく研究関連 ※WG5C-3に統合

入力文書：5C/139（SG1,5,7 議長）、5C/179（WP7C）

出力文書：なし

審議内容：

本件は、WRC 決議 731 のうち、invites the ITU Radiocommunication Sector 1 に基づく研究に関するものである(5C/139)。具体的には71GHz以上の周波数帯(例えば100-102GHz、116-122.25 GHz、148.5-151.5GHz、174.8-191.8 GHz、226-231.5GHz、及び235-238 GHzであるが、これに限らない)を対象としている。当初 WG5C-2 と WG5C-3 の両 WG に割り振られていたが、議論の結果 WG5C-2 の担当する周波数帯がほとんど含まれていないことから、議論の複雑化や重複を防ぐため、WG5C-3 で一括して審議することとなった(3.4.3を参照)。

3.4 WG 5C-3

- (1) 議長： H. Mazar (ATDI)
(2) 主要メンバー： P. Nava(Huawei)、 B. Patten(米国)、 N. Ali(英国)、 熊原、 小川など約 50 名

(3) 入力文書：

Bands above 275 GHz	5C/135 Annex6 (WP5C 議長) 5C/158 (日本)
・ ITU-R 報告 F.2416	
・ 新 ITU-R 報告 F.[FS conditions>275]	5C/135 Annex14 (WP5C 議長)、 5C/138 (WP5A)、 5C/162 (カナダ)、 5C/173 (ESA-EUTM)
WRC 決議 731 関連 92-175 GHz	5C/179 (WP7C)、 5C/139 (SG1,5,7 議長)
・ New W-band Rec.	5C/135 Annex3,4 (WP5C 議長)、 5C/169 (フランス)
・ New D-band Rec	
・ New EESS protection Rec.	5C/135 Annex15 (WP5C 議長)、 5C/161 (カナダ)
ITU-R 勧告 F.699 改訂	5C/135 Annex2 (WP5C 議長)、 5C/152 (ATDI)、 5C/158 (日本)
WRC-23 議題関連 議題 1.14(EESS in 240 GHz)	5C/176 (WP7C)、 5C/149 (WMO)
ITU-T SG5 activities Human exposure / EMF	5C/136 (ITU-T Q 3/5)、 5C/153 (ATDI)
ITU-T SG11 activities	5C/142 (ITU-T SG11)
その他	5C/182 (CISPR)

- (4) 出力文書： TEMP/57、 58、 59、 77R1、 78R2、 79R1、 80R2、 81、 82、 83、 88

(5) 審議概要

WG5C-3 は、86GHz 以上の課題と WP5C 傘下に設置された他の 3 つの WG に関連のない全般的な課題について審議する WG である。本 WG は今会合期間中に 6 回開催され、合計 15 件（日本からの寄与文書 1 件、及び他 WG との重複分を含む）の入力文書が審議された。この結果、出力文書 11 件が作成され、4 件がリエゾン文書として発出され、6 件が議長報告に添付され、1 件が WG 議長報告として了知された。

3.4.1 ITU-R報告F.2416の改訂関連

入力文書： 5C/135 Annex6 (WP5C 議長)、 5C/158 (日本)

出力文書： 5C/TEMP/80R2

審議内容：

ITU-R 報告 F.2416-0 (「275-450GHz における point-to-point 型固定業務アプリケーションの技術・運用上の特性およびアプリケーション」) の改訂に向けて前回までの作業を反映した作業文書 (5C/135 Annex6 (WP5C 議長)) に、日本から異なる種類のアンテナ放射パターンを追加する寄与文書が提出された (5C/158)。

本件は Offline Email Discussion (Convener : Jean-Yves Bernard 氏 (カナダ)) を設けて、新勧告草案 ITU-R F.[FS conditions>275]に向けた作業文書に関する議論と合わせて審議された。

作業文書については、日本から提供されたアンテナ放射パターンを新たに新設した Annex 4 に追加し、前回の 2020 年 11 月会合で削除すべであった図の削除を行う修正が。Annex 1 (275-445GHz 帯における減衰特性)については改善が必要なこと、また Annex 5 (296-306 GHz、313-318GHz、及び 333-356GHz 帯における地球探査衛星業務 (受動) の保護) に関する

る特定の条件)についてはポイントとして追加されていたが、削除することで合意した。本文書を議長報告に添付し次回以降作業を継続することで合意した(5C/TEMP/80R2、5C/192 Annex 6)。

3.4.2 新報告草案 ITU-R F.[FS conditions>275]に向けた作業文書関連

入力文書：5C/135 Annex14 (WP5C 議長)、5C/138 (WP5A)、5C/162 (カナダ)、5C/173 (ESA-EUMETSAT)

出力文書：5C/TEMP/82

審議内容：

本件は、新報告草案 ITU-R F.[FS conditions>275] (296-306 GHz、313-318 GHz、333-356 GHz)の各周波数帯における固定業務アプリケーションに適応される緩和技術と個別の条件)に向けた作業文書に関するものである。前回会合で作業を開始した作業文書(5C/135 Annex 14)に対し、カナダがEESS(受動)の性能基準、干渉基準等の技術特性をITU-R 勧告 RS.2017 から抜粋して4節に追加し、さらに現状で考えられる緩和技術としてアンテナ仰角範囲を限定することを7節に追加することを提案した(5C/162)。また、ESAと欧州気象衛星開発機構(EUMETSAT)は、決議731に関するSG7議長らからの寄書(5C/139)に基づきWP7CとWP7Dと緊密に連携して作業を行うこと、及び6節の緩和技術に対する評価方法に対する考え方を提案した(5C/173)。

本件については、ITU-R 報告 F.2416-0 改訂に関する議論とあわせて Offline Email Discussion (Convener: Jean-Yves Bernard 氏(カナダ))が設置され、作業文書が審議された。審議の結果、カナダとESA/EUMETSATの寄与文書を反映し、更新された作業文書が議長報告に添付された(5C/TEMP/82, 5C/192 Annex14)。

尚、WP5Aから地球探査衛星業務(EESS)(受動)の保護のための周波数帯296-306GHz、313-318GHz、333-356GHzの陸上移動業務に適用されるマイグレーション技術や特定条件の評価に関するWP7C宛のリエゾン文書(5C/138)が送付されており、情報として了知された。

3.4.3 WRC決議731に基づく研究関連

入力文書：5C/139 (SG1,5,7 議長)、5C/179 (WP7C)

出力文書：5C/TEMP/59

審議内容：

本トピックは、WRC 決議731のうち、invites the ITU Radiocommunication Sector 1 に基づく研究に関するものである(5C/139を参照)。具体的には71GHz以上の周波数帯(例えば100-102GHz、116-122.25GHz、148.5-151.5GHz、174.8-191.8GHz、226-231.5GHz、及び235-238GHzであるが、これに限らない)を対象としている。例示されている周波数帯について、現在のところ固定業務に関する勧告や報告は存在していないことが報告されている。

WG5C-2における審議では、WP5Cにおいては過去に71-76GHz、81-86GHz、92-95GHzについては何らかの研究が過去に行われていることが指摘された。英国からも、95GHz以下にはITU-R 報告や、近接周波数や放射制限などについてはRes 750(WRC-19)など確立されたものがあるため、これらについては見直す予定はないことを伝えるべきであるということが述べられた。これについて、WP7CのコンタクトでもあるESAからは、ITU-R 報告 F.2239 やWRC-12での検討結果を再度問題にするつもりはないことが返答された。このような議論を経て、ITU-R 報告 F.2239 とWRC 決議750について見直すことはないという内容に言及することで合意しWG5C-3での作業に移った。

一方、WG5C-3の担務範囲である94GHz以上については、提供できる固定業務のパラメータが存在していないことが報告された。

Offline Email Discussion (Convener : P. Tristant 氏 (ESA)) を設置し、リエゾン文書案について議論した結果、94GHz 以上の周波数帯については時間が必要であり、次回の 2021 年 11 月の会合で新たな情報があれば知らせるとの内容としたリエゾン文書を WP7C 宛に発出することで合意した (5C/TEMP/59、7C/195)。

3.4.4 92-175 GHz帯に関する新勧告の策定に関する審議

入力文書 : 5C/135 Annex3、4、15 (WP5C 議長)、5C/161 (カナダ)、5C/169 (フランス)

出力文書 : 5C/TEMP/77R、78R2、79R1、83

審議内容 :

本件は前回会合から作業が開始された、92-175GHz 帯におけるチャンネル及びブロック配置に関連する新勧告の策定と、95.1-174.8GHz 帯における EESS (保護) のための不要放射に関する新勧告策定に係る審議である。

チャンネル及びブロック配置に関する勧告に向けた作業文書 (F.[W-BAND]、F.[D-BAND])

2 件の新勧告を前提に作業文書が策定されており、それぞれ W 帯 (92-94 GHz、94.1-100 GHz、102-109.5 GHz、111.8-114.25 GHz) (5C/135 Annex 4) 及び D 帯 (130-134 GHz、141-148.5 GHz、151.5-164 GHz 167-174.8) (5C/135 Annex 3) を対象としている。

これらの作業文書に対し、フランスは固定業務の RF チャンネルとブロック配列の作業の進捗が、WP7C で作業中の EESS (受動) の保護のための固定業務の不要放射レベルの見直し作業 (WP7C で作業中) に依存するべきではないとして、どちらの文書にも、Annex 4 として、CEPT 文書から抜粋した対象周波数帯における FS 不要放射レベルに関する記述の追加を提案した (5C/169)

この提案に対し、主に 2 つの側面からの懸念が表明された。

- これら 2 件の勧告はチャンネル配置に関する内容であり、共用検討に関するものではなく、EESS (受動) 保護についての項目を追加するべきではない。(カナダ、英国)
- ITU-R 勧告が特定の地域 (CEPT) の勧告に依存するべきではない。(イラン、英国)

第 1 の点について、フランスはチャンネル配置自体が EESS (受動) 保護の一環となっており不可分であると説明したが、英国などは別の勧告等を参照すべきであり、本勧告において言及すべきではないとの意見を崩さなかった。

第 2 の点について、ESA はフランスの提案は Annex に事例として情報を追加しているものであり、CEPT のアプローチをほかの地域に押し付けるのではなく、他の勧告にも特定の地域の事例を掲載している例はあると反論したが、これに対し英国は今回の提案は CEPT のアプローチをグローバルに提案するというのが目的であり、ESA の説明では提案の趣旨を過小評価するものであると主張した。

さらに、米国は類似の勧告を 2 件策定することについて懸念を表明し、1 本化すべきであると述べたが、WG 議長からは検討はするが前回すでに 2 件の策定で合意したはずであるとの反論があった。

本件については、Offline Email Discussion (Convener : Rougier 氏 (フランス)) が設置され、Annex 4 の扱いについて検討することになった。米国からは、同時に作業が開始された F.[EESS_Protection]に向けた作業文書に関連する入力文書についても考慮すべきであるとの意見が出された。

イランからは名称として一部の主管庁のみが使用する W バンド、D バンドという呼称は使用すべきではないとの意見が述べられ、必ず周波数帯を併記するとの提案がなされ、了解された。

EESS (受動) 保護 (95.1-174.8GHz) に関する勧告に向けた作業文書 (F.[W-BAND]、

F.[D-BAND]

同じく前回会合から策定作業を開始している、新勧告草案 F.[EESS_Protection]に向けた作業文書は、RR 脚注 No. 5.340 が適用される隣接周波数帯で運用する EESS (受動) 保護のための 95.1-174.8GHz 帯で運用する固定業務の不要放射レベルに関する内容である (5C/135 Annex 15)。本件に対しては、カナダから現状の作業文書内の懸念事項について、Editor's Note として作業文書に組み込んだ上で、それぞれに関連するグループ (WP など) 宛にリエゾン文書を送付して意見や情報を求めることを提案する寄与文書が提出された (5C/161)。

本件についてはカナダの提案に ESA などから WP7C でも類似の検討がされていることが報告され、必要な情報を求める WP7C 宛リエゾン文書の送付が検討された。

オフライン審議の結果と今後の作業方針：3件の勧告を同時に策定

Offline Email Discussion では上述の 3 件の勧告の範囲や作業手順等が審議され、ESA・フランス等、EESS 保護に関する記述をチャンネル配置に関する勧告に含めるべきであるとするグループと、これらを分離すべきであるとする英国、米国、カナダの間で、Annex 4 の扱いについて議論された。英国は 3 件の勧告に関する審議を同時に進めるべきであるとした上で、チャンネルプランの勧告に共用検討に関する情報を統合することに反対した。また、カナダは CEPT の事例を特定の制限値として勧告に含めることは不適切であるとして、チャンネル配置勧告の作業を先行させた上で、この中では EESS 保護に関する勧告を参照するに留めるべきであると主張した。審議の結果、3 件の新勧告を策定し、作業を同時に完成させることを前提に、フランス提案による Annex 4 を削除し、チャンネル配置 (F.[W-BAND] (5C/TEMP/79)、F.[D-Band] (5C/TEMP/78)) の勧告の recognizing 部から EESS 保護の勧告 (F.[EESS Protection] (5C/TEMP/83)) を参照することで合意した。これらの議論を経て作業文書は議長報告に添付され、次回以降作業を継続することで合意した。

WP7C宛リエゾン文書

WP7C 宛に、新たな勧告 F.[EESS_Protection]策定作業を開始したことを知らせ、カナダの提案に基づき策定された必要な情報についてのリストを添付し情報やコメントを求めるリエゾン文書が送付された (5C/TEMP/77R1、7C/199)。

3.4.5 ITU-R勧告F.699-8改訂関連

入力文書：5C/135 Annex2 (WP5C 議長)、5C/152 (ATDI)、5C/158 (日本)

出力文書：5C/TEMP/58

審議内容：

本件は、ITU-R 勧告 F.699-8 (100 MHz から 86 GHz における調整研究と干渉評価のための固定無線システム用アンテナ参照放射パターン) の改訂を目指すものである。前回までに作業が続けられていた作業文書 (5C/135 Annex2) に対し、ATDI からは対応周波数帯の上限を現行の 86GHz から 330GHz へと引き上げ、作業文書から勧告改訂草案とすることが提案された (5C/152)。また、我が国からはカセグレンアンテナとコルゲートホーンアンテナの周波数 220GHz、250GHz、275GHz、300GHz、330GHz における放射パターンと、前回と今回追加された合計 4 種類のアンテナの物理寸法及び D/□の数値をまとめた表の追加が追加された (5C/158)。

今回の会合の焦点は対応周波数帯の上限の引き上げとされ、我が国からは市販されているアンテナの実測値を提供しており、330GHz までの拡大と文書のステータスの格上げを支持する旨説明した。また、400GHz 付近までの実測を行う予定であるところ、免許関連の手続きを待っており実行に至っていない旨を説明した。

この提案に対し、米国からは日本の提供したデータを専門家が分析しているが、160GHz

付近のデータ等いくつかの課題が見つかっており、今回追加されたデータを WP 内で検討する時間が必要である旨提案された。カナダも、周波数帯によってはアンテナパターンを実測値が上回っている部分があるなど、86GHz と同じパターンを適用するのが適切か疑問が残るとの見解を示した。一方 ESA はアンテナパターンを実測値に合わせようと試みるのも、サンプル数が少ないため注意が必要であると指摘した。

以上の議論の結果、今回のステータス引き上げについては見送られ、次回までに他のメーカー等のアンテナの実測値を提供するよう参加者に呼びかけることとなった。

また、本勧告は広く使用されていることから、他 WP に意見を求めるリエゾン文書の送付が検討されたが、今回格上げが見送られたことからリエゾン文書の送付も見送られた。本文書は引き続き作業文書として改めて議長報告に添付され、次回以降に作業を続けることで合意した（5C/TEMP/58、5C/135 Annex2）。

3.4.6 WRC-23議題1.14（現代のリモートセンシング観測の要求に則った231.5-252 GHz帯における地球探査衛星業務（受動）に係る既存分配の見直しと新規分配の検討）関連

入力文書：5C/176(WP7C)

出力文書：5C/TEMP/81

審議内容：

WRC-23 議題 1.14 に関連し、WP7C から共用検討に必要な技術特性、運用パラメータ、保護基準に関する情報提供を求めるリエゾン文書が送付された（5C/176）。今回合意において返答が必要であるが、現在までのところ該当する周波数帯には固定業務で使用しているシステムなどは報告されていないことを受け、返信するかどうかを検討された。WP7C 議長からは、過去の研究において高い周波数帯に関連する具体的情報があればそれでも良いとの言及があった。また、ESA からは WP5A では固定/移動 252-296GHz の共用検討を行っており、そのような内容を通知していることから、WP5C でも日本やカナダなど高い周波数帯に関する研究について進んでいる主管庁からの過去の入力についてまとめて、送付することが提案された。

審議の結果、対象となる周波数帯には F シリーズの勧告・報告が存在しない事、ただし ITU-R 報告 F.2416-0 には 275GHz を超える周波数帯における固定業務の特性が含まれ、また ITU-R 勧告 F.758-7 に含まれる I/N 値、ITU-R 勧告 F.699-8 に含まれるアンテナパターンなどが共用検討に有用である可能性があることを述べたリエゾン文書案が策定され、WP7C 宛に発出することで合意した（5C/TEMP/81、7C/196）。

3.4.7 ITU-T SG5 Q3/5（人体のEMF曝露）関連のリエゾン活動

入力文書：5C/136（ITU-T SG5Q 3/5）、5C/153（ATDI）

出力文書：なし

審議内容：

人体の EMF 曝露に関連する研究を行っている ITU-T SG5 から、活動の報告と関連文書について知らせるリエゾン文書が送付された（5C/136）。ATDI はこれに対する返答リエゾン案として、WP5A と 5C の見解として ICNIRP (2020) Guidelines が曝露の制限値の決定の参考になるとして、該当する内容を伝える原案を提案した。

しかしイランから、今回の会合では WRC-23 議題以外の内容は優先度が低いと指摘されたことなどから WP5C ではほとんど審議が行われず、WP5A（WG5A-4）では、同様の寄与文書が審議され、同 WG で合意された文書が WP5A と 5C の共同リエゾン文書案として WG5C-3 に提示された（5C/TEMP/76：取り下げ）

しかし、米国から WP5C はこの分野の「（リエゾン案の記述の通り）専門家ではない」ことから、具体的な内容を記述することに懸念が示され、WP5C として発出することは支持

しないとの見解が示された。また、この見解を英国も支持した。

このため、WP5C として本リエゾン文書を送付することは断念することとなり、リエゾン文書案は TEMP ファイルから削除された。

3.4.8 ITU-T SG11 (ITU-T 勧告 Q.4063「IoTの識別システムのテストのフレームワーク」) 関連

入力文書：5C/142 (ITU-T SG11)

出力文書：5C/TEMP/57

審議内容：

ITU-T 勧告 Q.4063「IoT の識別システムのテストのフレームワーク」が新たに策定されたことを知らせるリエゾン文書が ITU-T SG11 から送付された (5C/142)。特に質疑なく、謝意を伝え、今後も進捗を通知するよう依頼するリエゾン文書が策定され、ITU-T SG11 宛に送付された。

3.4.9 その他のリエゾン活動

入力文書：5C/182 (WP7A)

出力文書：なし

審議内容：

以下のリエゾン文書については、WP5C には情報としてコピーされたものであり、特段の対処は不要であるとして情報として了知された。

文書番号	発出元	概要
5C/182	WP7A	WP7A から CISPR (Subcommittee B と H) 宛のリエゾン文書で、6-40GHz 帯で運用する無線業務の保護に関する情報の問い合わせに関するリエゾン文書 (7A/96) に基づき、CISPR データベースに必要な各業務の標準周波数帯のリストを伝えている。

3.5 WG 5C-4

(1) 議長：大槻(日本)

(2) 主要メンバー：P. Nava (Huawei)、M.A. Akbari (カナダ)、N.Ali (英国)、R.Macchi (イタリア)、M. Messai (フランス)、H. Mazar (ATDI)、B. Patten (米国)、ドイツ、ロシア、中国、日本(熊原、内田、大槻) など約 50 名

(3) 入力文書：

ITU-R 勧告 F.758-7 改訂	5C/135 Annex7 (WP5C 議長) 5C/163 (カナダ)
Channel Arrangement	
- F.595-10(10-18 GHz)	5C/135 Annex13 (WP5C 議長) 5C/170 (フランス)
- F.637-4 (21.2-23.6 GHz)	5C/135 Annex8 (WP5C 議長) 5C/165 (中国)、5C/170 (フランス)
- F.1520-3 (31.8-33.4 GHz)	5C/135 Annex9 (WP5C 議長) 5C/170 (フランス)
- F.749-3 (36.5-40.5 GHz)	5C/135 Annex12 (WP5C 議長) 5C/170 (フランス)
- F.2005-0 (40.5-43.5 GHz)	5C/135 Annex10 (WP5C 議長) 5C/170 (フランス)
ITU-R 勧告 F.1777-2 改訂提案	5C/135 Annex11 (WP5C 議長)、 5C/159 (日本)
勧告/研究課題のメンテナンス	5C/181 cl. 2.3 (WP5C 議長)

(4) 出力文書： 5C/TEMP/69、70、71、72、73、74、75

(5) 審議概要

WG5C-4 は、WG5C-1、2、3 でカバーされていない ITU-R 勧告・報告の修正及び改訂提案、固定業務分野の成果物のメンテナンス、研究課題の改訂、語彙等について審議する WG である。同 WG は今回合会中に 4 回開催され、5 件の入力文書(1 件の日本入力文書を含む)が審議された。この結果、出力文書 7 件が作成され、6 件が議長報告に添付され、1 件が SG5 に送付された。

尚、前回合会では本 WG で審議された ITU-R 勧告 F.699-8 改訂関連審議は今回合会においては WG5C-3 で行われた。

3.5.1 ITU-R 勧告 F.758-7 改訂関連審議

入力文書： 5C/135 Annex 7 (WP5C 議長) 5C/163 (カナダ)

出力文書： 5C/TEMP/69

審議内容：

本件は ITU-R 勧告 F.758-7 (固定業務のデジタル固定無線システムと他業務のシステムおよびその他の干渉源の共用もしくは両立性のためのシステムパラメータおよび基準の検討)の改訂を目指すものである。前回までの寄与文書により現行の F.758-7 への新規パラメータの追加などが行われた作業文書が議長報告に添付されており (5C/135 Annex 7)、今回の合会ではカナダが 10.5-10.68GHz 帯、12.75-13.25GHz 帯、21.2-23.6GHz 帯に新たなパラメータを追加する提案をしている。これまでの改訂提案にカナダの提案を追加した作業用文書が作成され、審議された。

カナダから、表 7 の 6.425-7.125MHz の列において、Tx output power range 欄の-40dBW は非常に低く、標準といえるか疑念があるとの質問がなされ、この数値を提案したエリクソンから、この値は A-TPC/ACM タイプのシステムの内容である旨が説明された。

議論の結果、エリクソンが既存の値を維持し、§ 4.4 Tx output power range の項目に、このパラメータは ATPC を使用している場合可変であり、使用していないシステムよりも大幅に低い場合がある旨を追記したいと提案したため、これに合意した。(この課題については WRC-23 議題 1.13、1.14、1.16 & 1.17、1.19 に関連したリエゾン文書 (3.4 WG5C-3 の項目を参照) においても議論されており同様の記述を行っている)。

§ 4.4 に追加する記述に関する議論は Offline Email Discussion (Convener : Czegledi 氏 (エリクソン)) を設置し、原案の策定が行われた。

しかし、オフラインの結果策定された記述の中に、Tx output power range の下限値として -40dBW という数値が明記されていることに対し、中国がテキスト全体については支持するがこの数値は削除を求めたいと述べたことから、スクエアブラケットで囲んで次回以降検討することになった。

また、これまでに多くのシステムのパラメータが追加されていることから、次回会合までに検討したいとの意見が英国などから出されたことから、懸念点については次回の会合で寄与文書として提出することが呼びかけられた。(5C/TEMP/69)

同出力文書が WP5C プレナリにおいて審議された際に UAE が「既存勧告の見直しが十分行われないうまま新規勧告の策定を行っている」、及び「本勧告の改訂に向けた作業を開始することについては全体総意ができていない」という、実際の審議経緯と合わない理由から、Working Document の前に「Element of」を追加するよう要求した。WP5C 議長らが、本文書は WP5C が毎研究会期に行っている通常の改訂作業であることに加え、ITU-R 決議 1-8 で地位を認められていない文書のステータスを追加することはしないと反論した。しかし、UAE は、本文書の内容はすべて合意できていないとする Editor's Note を追加するよう重ねて要求したところ、英国が同勧告は広く使用されているものであり、現行のバージョンの信頼性を損なうとの懸念を示し「追加されている数値は合意されたものではない」旨を Editor's Note に追加することで合意された。

これらの議論を経て本文書は当初提案通り作業文書のステータスで議長報告に添付され、次回以降作業を継続することとなった。(5C/TEMP/69、5C/192 Annex 7)。

3.5.2 チャンネル配置に関する勧告の改訂に関する審議

入力文書 : 5C/135 Annex 8、9、10、12、13 (WP5C 議長)、5C/165 (中国)、5C/170 (フランス)

出力文書 : 5C/TEMP/70、71、72、73、74

審議内容 :

本件は、チャンネル配置に関する勧告の改訂に関する審議である。議長報告に添付されてキャリーフォワードされていた作業中の勧告草案は次の通りである。

- ITU-R 勧告 F.595-10 (17.7-19.7 GHz 帯無線周波数配置) (5C/135 Annex 13)
- ITU-R 勧告 F.637-4 (21.2-23.6 GHz 帯無線周波数配置) (5C/135 Annex 8)
- ITU-R 勧告 F.749-3 (36-40.5 GHz 帯無線周波数配置) (5C/135 Annex 12)
- ITU-R 勧告 F.1520-3 (31.8-33.4 GHz 帯無線周波数配置) (5C/135 Annex 9)
- ITU-R 勧告 F.2005-0 (40.5 -43.5 GHz 帯無線周波数配置) (5C/135 Annex 10)

このうち、ITU-R 勧告 F.637-4 (21.2-23.6 GHz 帯無線周波数配置) については、中国から、これまで提案されているチャンネル幅に加え 56MHz の整数倍をチャンネル間隔とする配置例を追加することと本文書を勧告改訂案として SG5 へ提出することが提案された (5C/165)。また、フランスからは、上記 5 件の勧告に関連して、EESS (受動) の保護基準についての研究結果を含む CEPT の ECC Report 319 が最近合意されたことを知らせ、それぞれの勧告の recognizing 部に、固定業務に広帯域を提供するためのチャンネルアグリゲーションは、近接周波数帯に影響を与えうる帯域外発射を増加させるが、高性能な固定業務用の装置を使用することで緩和できる旨を追加する提案がなされた (5C/170)。

中国の提案については、提案通りキャリーフォワードされてきた勧告改訂草案 F.637-4 に

追加された作業文書が作成された。

一方、フランスの提案については、イランなどから提案された内容の中でも「高性能な」装置という用語が何を指しているか不明確であり、修正が必要であるとの見解が示された。このため、フランス提案の修正ドラフティングのための Offline Email Discussion (Convener: Rougier 氏 (フランス)) を設置した。

オフラインでの協議を経た審議の結果、recognizing 部に ITU-R 勧告 SM.1540 が不要放射の管理に関するガイドラインを提供する旨を追記することで合意された。

これら 5 件はすべてすでに勧告改訂草案としてキャリアフォワードされてきていることから、SG5 に上程するかどうかを検討された。ITU-R 勧告 F.637 については、中国が SG5 に上程することを提案していたが、中国により新たな配列が追加されるなどしたため、格上げは見送り次回検討することとなった (5C/TEMP/71、5C/192 Annex 8)。また残りの 4 件については今回会合では上述の recognizing の追加のみであったが、ITU-R 勧告 F.595 については、本文中の記述と参照先の図表番号に不整合が発見され、図が 1 枚削除され、参照も修正された。このため提案者のフランスから、これらを含めて内容に誤りがないかを改めて精査したいとの申し出があったことを受け、すべての改訂草案の格上げと SG5 への上程は見送られた。

- ITU-R 勧告 F.595-10 (5C/TEMP/70, 5C/192 Annex 13)
- ITU-R 勧告 F.637-4 (5C/TEMP/71, 5C/192 Annex 8)
- ITU-R 勧告 F.749-3 (5C/TEMP/73, 5C/192 Annex 12)
- ITU-R 勧告 F.1520-3 (5C/TEMP/72, 5C/192 Annex 9)
- ITU-R 勧告 F.2005-0 (5C/TEMP/74, 5C/192 Annex 10)

これらの議論を経て、上記 5 件の勧告改訂草案はすべて議長報告に添付され次回以降作業を継続することで合意した。

3.5.3 ITU-R勧告F.1777-2の改訂関連審議

入力文書： 5C/135 Annex11 (WP5C 議長)、5C/159 (日本)

出力文書： 5C/TEMP/75

審議内容：

ITU-R 勧告 F.1777-2 (共用検討で使用する固定業務における TVOB、ENG、EFP のシステム特性) の改訂に関する作業の成果は前回会合までに合意した勧告改訂草案案 (PDRR) が議長報告に添付された (5C/135 Annex 11)。これに対し、我が国から Summary of Revision と Abbreviation (略語) の項目を追加し、勧告改訂案として SG5 に上程することを提案する寄与文書が提出された (5C/159)。審議の結果略語として HDTV、UHDTV を追加し、TV を削除することなどの軽微な修正が行われた (5C/TEMP/75)。

ATDI から、WP6A など関連する WP からの意見を求めるリエゾン文書の発出が提案されたが、既に SG5 に送付する内容として完成している状況等も鑑みた上で、その必要はないとされリエゾンは送付されなかった。

審議の結果、本案は WP5C プレナリで改訂勧告案として承認され、SG5 に上程された (5/41)

3.5.4 勧告/研究課題のメンテナンス関連審議

入力文書： 5C/181 cl. 2.3 (WP5C 議長)

出力文書： なし

審議内容：

WP5C 議長からの文書 (5C/181) の 2.3 に、WP5C の担当する 2 件の勧告について改訂が必要な問題があることが報告された。

- ITU-R 勧告 F.383 には、Scope 部には 80GHz RF 配置の記述があるが、本体には記述

がない。

- ITU-R 勧告 F.1568-1 の Considering h)には ITU-R 勧告 F.746 Annex 3 が参照されている。ITU-R 勧告 F.1568 が策定された当時、参照先の Annex には 10GHz の RF 帯のチャンネルプランが掲載されていたが、Annex は 2010-11 年の改訂時に、すでに使用されていないという理由で削除され、Annex の番号が振りなおされた。この結果、現行の ITU-R 勧告 F.746 Annex 3 は 14GHz 帯のチャンネルプランが記述されているが、ITU-R 勧告 F.1568 における参照情報の改訂が行われていない。

これらについては、WP5C 議長からは今回の会合から作業を開始することは想定しておらず、緊急の案件でもない旨が説明された。

WG 議長は、ITU-R 勧告 F.383 については、Scope 部にある 80GHz 帯の言及を削除することを想定し、エディトリアル修正の手続きにより修正が可能であるとの見解を示した。また、ITU-R 勧告 F.1568-1 については、次回以降改訂に向けた作業を行うとの提案がなされた。

3.6 WRC-23 議題9.1.cに関する5A/5C共同アドホック会議

- (1) 共同議長： J Costa (WP5A 議長)、P. Nava (WP5C 議長)
- (2) 主要メンバー： N.Ali(英国/CEPT)、Arasteh (イラン)、H. Mazar (ATDI)、I. Dante (米国)、Abdulhadi AbouAlmal (UAE)、ドイツ、ロシア、中国、日本(熊原、内田、大槻)など約 80 名
- (3) 入力文書： 5A/221 Annex 8、9、18 (WP5A)、5A/251 (5C/143) §3.17 (WMO) *、5A/271 (米国) *、5A/273 (IAFI)、5A/307(5C/176) (中国) *、5A/321 (5C/172) (CEPT) *、5A/329 (エジプト)、5A/336 (UAE)
- (4) 出力文書： 5C/TEMP/86(Rev.1) (5A/TEMP/14R1)、5C/TEMP/87 (5A/TEMP/147)、及び 5A/TEMP/144
- (5) 審議概要

Ad-hoc WP5A/5C on AI 9.1 Topic c は、WRC-23 議題 9.1 Topic c (固定業務に一次分配された周波数帯での固定ワイヤレスブロードバンドのための IMT システムの利用の研究) についての審議を行う WP5A と WP5C による共同 Ad-hoc 会議である。前回会議で両 WP の議長が共同議長を務める Ad-hoc 会議が設置されることで合意しており、今回合合から審議が開始された。今合合期間中に 3 回開催され、合計 8 件の入力文書が審議され、出力文書 3 件が作成された。また、前回の議長報告への 3 件の添付文書の内 2 件は編集されないまま持ち越された。

また、審議の結果、基本的な作業手順の合意に至らず新たな勧告/報告の作成に向けた作業、既存勧告の見直しに向けた作業のいずれも開始することができなかつたため、すべての入力文書は議長報告から参照する形で次回以降の作業のためキャリーフォワードされた。このような議論の紛糾を受け、次回合合までの間に作業を進めるための Correspondence Group を設置することで合意した。

3.6.1 審議の進め方に関する議論

これまで審議が滞ってきた経緯を鑑み、今回の合合では作業を前進させるための方策としてアジェンダ案の提示と同時に、次の項目に分けて Offline Email Discussion の設置と対応する入力文書の割り当てが共同議長らから提案された。WMO の議題に対する立場を表明する文書 (5A/251) は情報として了知され、残りの文書は次の通り割り当てられた。

語彙の定義	5A/19 (WP5A・WP5C 議長)、5A/321Att.1 (CEPT)
ITU-R 勧告 F.1401-1	5A/321Att.2 (CEPT)、5A/271 (米国)、5A/273 (IAFI)
ITU-R 勧告 F.1763-1	5A/307 (中国)、5A/271 (USA)、5A/321 (CEPT)
新たな勧告/報告に向けた作業文書	5A/221 (Annex18) (WP5A)、5A/271 (米国)、5A/321Att.3 (CEPT)、5A/329 (エジプト)、5A/336 (UAE)
Draft CPM テキスト	5A/221 (Annex 8) (WP 5A)、5A/273 (IAFI)、5A/321 (CEPT)
作業計画	5A/221 (Annex 9) (WP 5A)、5A/273 (IAFI)、5A/21 Att.4 (CEPT)

* WP5Cに同じ文書が入力されているもの

しかし、ドイツ、米国、イランから、議論の方法で合意できていない時点でこのような分類に基づく Offline Email Discussion を設置することに対して反対の意見が表明された。イランはこのトピックが非常にデリケートな問題を含んでおり、メールでの協議自体に強く反対したことから、今回の会合での Offline Email Discussion の設置は見送られた。

UAE は、まず前回作成した作業文書に向けたエレメントに即した作業を行うことを提案し、その作業上で必要があれば既存の勧告の改訂を審議すべきであるとの提案を行った (5A/336)。また、エジプトは寄与文書において IMT FWA のユースケースとして、IMT FWA と IMT バックホールに関する内容を 2 章に、キャパシティニーズに関するセクションを 3 章に追加する修正を提案している (5A/329)。これらに基づき新たな勧告/報告の策定を進めたい UAE、中国、エジプトに対し、CEPT、米国、イラン、サモアは既存勧告・報告を見直し、十分に検討してからのみ新規文書の作成を行うべきであると主張したが、妥協点が見いだせず、作業は開始できなかった。

3.6.2 語彙に関する審議

CEPT は本議題の根拠となる決議 175 (WRC-19) において使用されている「fixed wireless broadband」という用語が ITU-R で定義されておらず、また IMT システムと書かれているが、移動業務を固定業務に割り当てられた周波数帯で行うことを目指しているかのような誤解が生まれているとして、それぞれの語彙の定義をはっきりさせるべきであると主張した (5A/321)。これに対し、UAE と中国は WRC での決定をここで議論すべきではないとしたため、語彙に関する議論はそれ以上行われず、CEPT の提案を議長報告に含めることも UAE が拒否したため、出力文書等も作成されなかった。尚、本 Ad-hoc 下に設置された CG においては、語彙の検討が所掌となっており、何らかの議論がなされる見込みである (第 3.6.4 項を参照)。

3.6.3 その他の文書

作業計画 (5A/221 (Annex 9)) は、CEPT の提案に沿って、今回の作業の進捗を鑑みて修正された (5A/TEMP/144)。また、ドラフト CPM テキスト (5A/221 Annex 8)) については一切変更がなかったことからそのまま今回の議長報告に添付されることとなった (5A/359 Annex 8)。

すべての入力文書については、次回以降改めて作業に使用できるよう、議長報告から参照する形でキャリアフォワードすることで合意した。

3.6.4 Correspondence Groupの設置

会議の最後に、イランより次回会合までの間に少しでも作業を進めるために Correspondence Group (CG) を設置することが提案された。これを受けて、米国・ドイツ・イランらがオフラインで ToR 案を策定し、WP5A と WP5C のプレナリに提出した (5A/TEMP/146・5C/TEMP/86)。当初は CG の所掌は「語彙と固定業務、既存の ITU-R の研究ハンドブック、勧告、報告の定義」に関する議論と「今後見直すべき既存報告と勧告の範囲」とされていた。しかし先に開催された WP5C プレナリでの審議において UAE が「語彙」についてのみは合意できるとし残りの記載をすべて削除することを強く要求した。CG の設置自体が危ぶまれたため、イランが仲介し、最終的には CG の所掌は語彙のみとすることで合意した。また、議長として米国の Di Lapi 氏と UAE の Aboulmal 氏の名前が挙がったが、ドイツから Aboulmal 氏はほかの議題の CG の議長もしていることなどから副議長となる方が良いとの意見が出され、UAE が受け入れた。カウンセラの助言により、CG の設置は担当する二つの WP の内どちらかで承認されれば可能であることが確認された。

WP5C プレナリで承認された ToR は WP5A プレナリで改めて審議された (5A/TEMP/146R1)。本議題についての米国の窓口として Ad-hoc に参加していた Dante 氏

は、WP5C での議論の過程で CG の所掌が限定的になってしまったのは残念だが、明らかな方向性が示されたことは評価したいとして容認する考えを示した。また、同氏は米国の De Lapi 氏が議長、UAE が副議長とするとの WP5C の合意には問題はないが、本議題については過去 2 回の会合にわたり全く作業が進んでおらず、協調の精神で前に進める必要があるとコメントした。これらの経緯を経て、WP5A プレナリでも ToR が承認され本 CG は両 WP が共同設置することになった。

4 今後の予定

次回 WP5C 関連 WG 会合で審議予定の主な課題は以下である。

4.1 WG5C-1

- 新 ITU-R ハンドブック F.[HF Adaptive Handbook]の策定
- 新報告草案 ITU-R F.[CSA] 450-470 MHz の策定
- ITU-R 決議 59 に基づく研究（新報告 ITU-R F.[AUDIO_PMSE_USAGE]

4.2 WG5C-2

・ チャンネル配置に関する勧告の改訂

4.3 WG5C-3

- 92-175GHz に関する新勧告草案策定作業（チャンネル配置 ITU-R F.[D-BAND]、ITU-R F.[W-BAND]及び EESS（受動）保護 ITU-R F.[EESS_Protection]
- 275GHz 以上の EESS (受動)保護のための軽減技術に関する新報告草案の策定 (F. [FS mitigation>275])
- ITU-R 報告 F.2416 の改訂
- ITU-R 勧告 699-8 の改訂

4.4 WG5C-4

チャンネル配置に関する勧告の改訂

- ITU-R 勧告 F.758-7 の改訂
- ITU-R 勧告 F.383、及び ITU-R 勧告 F.1568-1 の不整合解消のための改訂

4.5 Ad-hoc WP5A/5CW A.I.9.1.c

- ドラフト CPM レポートの作成
- 関連する既存勧告/報告の見直しの検討
- 新しい勧告/報告の作成の是非
- 他 WP へのリエゾン文書送付

5 次回会合のスケジュール

第 26 回 WP5C 会合は、2021 年 11 月 15 日～11 月 26 日に開催が予定されている。また、SG5 会合が 11 月 29 日に開催が予定されている。

6 関連資料

6.1 日本入力文書の審議結果

担当 WG	文書番号	概要	審議結果	出力文書
WG5C-3	5C/158	勧告 F.2416 の改訂に向けて、引き続き異なる種類のアンテナ放射パターンを追加する提案。同じアンテナパターンを F.699-8 の改訂にも活用することを提案	報告 F.2416 の改訂、新報告草案 F.[FS Conditions]に向けた作業文書、勧告 F.699-8 改訂にそれぞれ追加された。	TEMP/80R2
WG5C-4	5C/159	勧告 F.1777-2 の勧告改訂草案に軽微な修正を行い、勧告改訂案への格上げを提案	勧告改訂案として SG5 に上程	TEMP/75

6.2 入力文書一覧

WG: Working Group WP: Working Party SG: Study Group

文書番号	提出元	題名	担当 WG	出力文書
5C/130	WP 4A	Reply liaison statement to Working Party 5C (copy for information to Working Parties 3M, 5A, 5B and 7B) - WRC-23 agenda item 1.19	WG5C-2	TEMP/66
5C/131	WP 4A	Reply liaison statement to Working Party 5C - WRC-23 agenda item 1.17	WG5C-2	TEMP/68
5C/132	WP 4A	Reply liaison statement to Working Party 5C (copy to Working Party 3M for information) - WRC-23 agenda item 1.15		—
5C/133	WP 4A	Reply liaison statement to Working Party 5C (copy to Working Parties 3M, 4C, 5A, 5B, 7B, and 7C for information) - WRC-23 agenda item 1.16	WG5C-2	TEMP/68
5C/135	WP 5C 議長	Report on the twenty-fourth meeting of Working Party 5C (e-Meeting, 4-13 November 2020)	Plenary	—
5C/136	ITU-T SG5	Liaison statement on work being carried out under study in ITU-T Q3/5	WG5C-3	—
5C/137	WP 5A	Liaison statement to Working Parties 1A, 5C, and 5D - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[UCS] on Utility Communications Systems	WG5C-1	—
5C/138	WP 5A	Liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 1A, 3J, 3K, 3M and 5C for information) - Assessment of mitigation techniques and specific conditions to be applied to the land-mobile service applications in the frequency bands 296-306 GHz, 313-318 GHz and 333-356 GHz, to ensure the protection of Earth exploration-satellite service (passive) applications...	WG5C-4	—
5C/139	Chairmen, SG 1, SG 5 and SG 7	Studies under Resolution 731 (Rev.WRC-19) - Consideration of sharing and adjacent-band compatibility between passive and active services above 71 GHz	WG5C-2/WG5C-3	TEMP/59

文書番号	提出元	題名	担当WG	出力文書
5C/140	WP 5B	Reply liaison statement to Working Party 3M (copy to Working Parties 3K, 4A, 5A, 5C, 7C and 7D for information) - WRC-23 agenda item 1.10 - Possible new allocations to the aeronautical mobile service for the use of non-safety applications	WG5C-2	—
5C/141	イラン	List of assignments that the Administration of Iran (Islamic Republic of) had notified to the Bureau and that are within the frequency bands subject to WRC-23 agenda items	Plenary	-
5C/142	ITU-T SG 11	Liaison statement on Recommendation ITU-T Q.4063 "The framework of testing of identification systems used in Internet of things"	WG5C-3	TEMP/57
5C/143	ATDI	Simplifying the approval of liaison statements	Plenary	—
5C/144	英国	Spectrum use and future spectrum requirements for PMSE	WG5C-1	TEMP/65
5C/145	WP 5D	Liaison statement to Working Parties 3J, 3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C and 7D - WRC-23 agenda item 1.4	WG5C-1	—
5C/146	WP 5D	Reply liaison statement from Working Party 5D to Task Group 6/1 (copy to Working Parties 3K, 3M, 5A, 5B, 5C, 6A, 7D) - Preparations for WRC-23 agenda item 1.5 - Information for sharing and compatibility studies	WG5C-1	—
5C/147	WP 5D	Reply liaison statement from Working Party 5D to Task Group 6/1 (copy to ITU-R Working Parties 3K, 3M, 5A, 5B, 5C, 6A, 7D) - Preparations of WRC-23 agenda item 1.5 Information on spectrum use and spectrum needs of existing services including IMT within the frequency band 470-960 MHz in Region 1	WG5C-1	—
5C/148	WP 4A	Reply liaison statement to Working Party 5C (copy to Working Party 3M for information) - WRC-23 agenda item 1.15	WG5C-2	TEMP/85
5C/149	世界気象機関 (WMO)	Preliminary position on WRC-23 agenda	Plenary	—
5C/150	WP 5D	Reply liaison statement to Working Party 5C - WRC-23 agenda item 1.2	WG5C-2	TEMP/67
5C/151	WP 5D	Liaison statement to Working Party 5B (copy for information to Working Parties 1B, 5C, and 7B) - WRC-23 agenda item 1.1	WG5C-2	—
5C/152	ATDI	Recommendation ITU-R F.699-8 - Upper limit frequency: 330 GHz instead of 86 GHz	WG5C-3	TEMP/58
5C/153	ATDI	Draft response liaison statement on EMF to ITU-T Study Group 5, ITU-D Study Group 2, ITU-R Working Party 1A and Working Party 1C	WG5C-3	—
5C/154	WP 7B	Reply liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 3M, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, and 7C for information) - Reply liaison statement to Working Party 4A concerning WRC-23 agenda item 1.17	WG5C-2	TEMP/68

文書番号	提出元	題名	担当WG	出力文書
5C/155	WP 7B	Reply liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 3K, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 7C and 7D for information) - Reply liaison statement to Working Party 5D concerning WRC-23 agenda item 1.2	WG5C-2	—
5C/156	米国	Proposal for Editorials to the preliminary draft new Report ITU-R F.[CSA]	WG5C-1	TEMP/61
5C/157	米国	Fixed service characteristics for WRC-23 agenda items 1.13, 1.16, 1.17 and 1.19 studies	WG5C-2	TEMP/66, 68, 84,
5C/158	日本	Proposed modification to Annex 4 to working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R F.2416-0 - Technical and operational characteristics and applications of the point-to-point fixed service applications operating in the frequency band 275-450 GHz	WG5C-3	TEMP/58, 80R2
5C/159	日本	Proposed draft revision of Recommendation ITU-R F.1777-2 - System characteristic of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field production in the fixed service for use in sharing studies	WG5C-4	TEMP/75
5C/160	ロシア	WRC-23 agenda item 1.2 - Characteristics for fixed service stations operating in the frequency band 6 425-7 025 MHz and 7 025-7 125 MHz	WG5C-2	TEMP/67
5C/161	カナダ	Comments to progress the working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[EESS-PROTECTION] - Unwanted emission levels outside the allocated bands for FS systems operating in bands from 94.1 GHz to 174.8 GHz for the protection of EESS (passive) operating in adjacent bands where footnote RR No. 5.340 applies	WG5C-2	TEMP/TEMP/77R1, 83
5C/162	カナダ	Proposed update of the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[FS.CONDITIONS>275GHz] - Assessment of possible mitigation techniques and specific conditions to be applied to the fixed service applications in the frequency bands 296-306 GHz, 313-318 GHz and 333-356 GHz to ensure the protection of Earth exploration-satellite service (passive) application	WG5C-3	TEMP/82
5C/163	カナダ	Proposal for updating Recommendation ITU-R F.758 with parameters for use in sharing and compatibility studies	WG5C-2/WG5C-4	TEMP/68, 69, 85
5C/164	中国	Proposal of modification to working document towards a preliminary draft new Handbook ITU-R [HF ADAPTIVE HANDBOOK]	WG5C-1	TEMP/63
5C/165	中国	Proposal to preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.637-4	WG5C-4	TEMP/71
5C/166	中国	Proposal on the work towards the review and revision of existing ITU-R Recommendations towards WRC-23 agenda item 9.1, topic c)	Ad-hoc 9.1 topic C	—

文書番号	提出元	題名	担当WG	出力文書
5C/167	Huawei Technologies Sweden AB	Proposal to reply liaison statement to Working Party 5D on fixed service system parameters in 6 GHz for WRC-23 agenda item 1.2	WG5C-2	TEMP/67
5C/168	フランス	Considerations on preliminary draft new Report ITU-R F.[CSA]	WG5C-1	TEMP/61
5C/169	フランス	RF Channel and block arrangements for fixed service systems in the W-band and D-band and related EESS (passive) protection	WG5C-3	TEMP/79, 78, 83
5C/170	フランス	Frequency arrangements for FWS using wide channels	WG5C-4	TEMP/70, 71, 72, 73, 74
5C/171	イタリア	WRC-23 agenda item 1.5: Overview on current spectrum use and future spectrum needs of PMSE applications in Italy	WG5C-1	TEMP/65
5C/172	英国	View and proposed way forward regarding work on WRC-23 agenda item 9.1, topic c), on the use of IMT technologies for fixed wireless broadband in the frequency bands allocated to the FS on a primary basis, taking into account the relevant ITU-R studies, Handbooks, Recommendations and Reports	Ad-hoc 9.1 topic C	5A/TEMP/144
5C/173	EU/EUMETS AT	Proposed revisions to working document [towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[FS.CONDITIONS>275GHz]]	WG5C-3	TEMP/82
5C/174	WP 7C	Liaison statement to Working Party 4A (copy for information to Working Parties 3M, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C and 7B) - WRC-23 agenda item 1.17	WG5C-2	TEMP/68
5C/175	WP 7C	Liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 3M, 4C, 5A, 5B, 5C and 7B for information) - WRC-23 agenda item 1.16	WG5C-2	TEMP/68
5C/176	WP 7C	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D (copy to Working Parties 3J and 3M for information) - WRC-23 agenda item 1.14: system characteristics of primary services to be used for sharing and compatibility studies in the frequency range 231.5-252 GHz	WG5C-2	TEMP/81
5C/177	WP 7C	Liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 3K, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C and 7B for information) - WRC-23 agenda item 1.2 - Additional information on EESS (passive) in 10.6-10.7 GHz	WG5C-2	—
5C/178	WP 7C	Liaison statement to Working Parties 3K, 3L, 3M, 5A, 5B, 5C and 6A (copied for information to Working Parties 7A and 7D) - WRC-23 agenda item 1.12	WG5C-1	—
5C/179	WP 7C	Liaison statement to Working Parties 5A and 5C (copy for information to Working Parties 1A, 1C and 7D) - Proposal to initiate work under Resolution 731 (Rev.WRC-19)	WG5C-2/WG5C-3	TEMP/59
5C/180	WP 7C	Liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 5A, 5C, and 5D for information) - WRC-23 agenda item 9.1, topic d)	WG5C-2	—

文書番号	提出元	題名	担当WG	出力文書
5C/181	WP5C 議長	Supporting material for twenty fifth meeting of Working Party 5C (28 April – 11 May 2021)	Plenary	—
5C/182	WP 7A	Liaison statement to CISPR (Subcommittees B and H) (copy for information to Study Group 1 and Working Parties 1A, 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D) - Update to Standard frequency and time signal services protection requirements in the CISPR radio services database	WG5C-3	—
5C/183	BR SG Dept	List of documents issued (Documents 5C/130 – 5C/133 and 5C/135 – 5C/183)	Plenary	—

6.3 出力文書一覧

議長報告：5C/192

文書番号	担当 WG	題名	入力文書	処理
5C/TEMP/57	WG5C-3	Response liaison statement to ITU-T Study Group 11 - The framework of testing of identification systems used in Internet of Things	5C/142	ITU-T SG 11 宛に発出
5C/TEMP/58	WG5C-3	[Working document towards a] preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.699-8 - Reference radiation patterns for fixed wireless system antennas for use in coordination studies and interference assessment in the frequency range from 100 MHz to [330 GHz]	5C/135 Annex 2, 5C/152, 5C/158	議長報告に添付 5C/192 Annex 2
5C/TEMP/59	WG5C-3	Reply liaison statement to Working Party 7C (copy WP 5A and 7D) - Work under invites the ITU-R 1 of Resolution 731 (Rev.WRC-19)	5C/139, 5C/179	7C/195
5C/TEMP/60		(取り下げられた)		n.a.
5C/TEMP/61	WG5C-1	Annex 5 to Working Party 5C Chairman's Report - Preliminary draft new Report ITU-R F.[CSA] - Technical and operational characteristics of radio frequency central alarm systems operating in the fixed service in the frequency range 450-470 MHz	5C/135 Annex 5C/156, 5C/168	議長報告に添付 5C/192 Annex 5
5C/TEMP/62	WG5C-1	Reply liaison statement to Working Party 5B - Information for studies on WRC-23 agenda item 1.9	5C/63	5B/344
5C/TEMP/63	WG5C-1	Annex XX to Working Party 5C Chairman's Report - Working document towards a Preliminary draft new handbook ITU-R [HF Adaptive handbook] - A tutorial on frequency adaptive communication systems in the HF bands	5C/135 Annex 1, 5C/164	議長報告に添付 5C/192 Annex 1
5C/TEMP/64	WG5C-1	Liaison statement to Working Parties 6A - With regard to Resolution ITU-R 59-2	5C/108, 5C/121, 5C/12	6A/184
5C/TEMP/65	WG5C-1	Annex XX to Working Party 5C Chairman's Report - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[AUDIO PMSE USAGE] - Current situation and future assumptions regarding regional and global usage of Audio SAB/SAP, ENG, and PMSE in various frequency bands	5C/135 Annex 11, 5C/51, 5C/121, 5C/122, 5C/123, 5C/144, 5C/171	議長報告に添付 5C/192 Annex 11
5C/TEMP/66	WG5C-2	Liaison statement to Working Party 4A (copy to working parties 3M, 5A, 5B and 7B for information) - WRC-23 agenda item 1.19 - Characteristics and protection criteria for fixed service systems operating in the frequency band 17.7-19.7 GHz	5C/135 Annex16, 5C/130, 5C/157	4A/267, 3M/185, 5A/363, 5B/350, 7B/116
5C/TEMP/67	WG5C-2	Draft reply liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 3K, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 7B and 7C for information) - WRC-23 agenda item 1.2	5C/135 Annex16, 5C/109, 5C/150, 5C/16, 5C/160	5D/583, 4A/270, 5B/351
5C/TEMP/68	WG5C-2	Draft reply liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 3M, 4B, 4C, 5A, 5B and 7B for information) - WRC-23 agenda items 1.16 and 1.17 - Characteristics and protection criteria for fixed service systems operating in the frequency bands 17.7- 19.7 GHz and 27.5-29.5 GHz	5C/135 Annex16, 5C/131, 5C/133, 5C/157, 5C/163	4A/264, 5B/346

文書番号	担当 WG	題名	入力文書	処理
5C/TEMP/69	WG5C-4	[Elements for a] Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.758-7 - System parameters and considerations in the development of criteria for sharing or compatibility between digital fixed wireless systems in the fixed service and systems in other services and other sources of interference	5C/135 Annex 7, 5C/163	議長報告に添付 5C/192 Annex 7
5C/TEMP/70	WG5C-4	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.595-10 - Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 17.7-19.7 GHz frequency band	5C/135 Annex 13, 5C/170	議長報告に添付 5C/192 Annex 13
5C/TEMP/71	WG5C-4	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.637-4 - Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 21.2-23.6 GHz band	5C/135 Annex 8, 5C/165 5C/170	議長報告に添付 5C/192 Annex 8
5C/TEMP/72	WG5C-4	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1520-3 - Radio-frequency arrangements for systems in the fixed service operating in the band 31.8-33.4 GHz	5C/135 Annex 9, 5C/170	議長報告に添付 5C/192 Annex 9
5C/TEMP/73	WG5C-4	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.749-3 - Radio-frequency arrangements for systems of the fixed service operating in sub-bands in the 36-40.5 GHz band	5C/135 Annex 12, 5C/170	議長報告に添付 5C/192 Annex 12
5C/TEMP/74	WG5C-4	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.2005 - Radio-frequency channel and block arrangements for fixed wireless systems operating in the 42 GHz (40.5 to 43.5 GHz) band	5C/135 Annex 10, 5C/170	議長報告に添付 5C/192 Annex 10
5C/TEMP/75	WG5C-4	[Preliminary] draft revision of Recommendation ITU-R F.1777-2 - System characteristic of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field production in the fixed service for use in sharing studies	5C/135 Annex 11, 5C/159	SG5 に上程 5/41
5C/TEMP/76	WG5C-3	(取り下げられた)		n.a.
5C/TEMP/77 Rev.1	WG5C-3	Reply liaison statement to Working Party 7C - Adjacent band compatibility between Fixed service and EESS (passive) systems operating in bands above 92 GHz and up to 174.8 GHz	5C/135 Annex 15, 5C/161	7C/199
5C/TEMP/78 Rev.2	WG5C-3	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[D-BAND] - Radio-frequency channel and block arrangements for Fixed Service systems operating in the 130-134 GHz, 141-148.5 GHz, 151.5-164 GHz and 167-174.8 GHz ranges	5C/135 Annex 3, 5C/169	議長報告に添付 5C/192 Annex 3
5C/TEMP/79 Rev.1	WG5C-3	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[W-BAND] - Radio-frequency channel and block arrangements for Fixed Service systems operating in the 92-94 GHz, 94.1-100 GHz, 102-109.5 GHz and 111.8 114.25 GHz ranges	5C/135 Annex 4, 5C/169	議長報告に添付 5C/192 Annex 4
5C/TEMP/80 Rev.2	WG5C-3	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R F.2416-0 - Technical and operational characteristics and applications of the point-to-point fixed service applications operating in the frequency band 275-450 GHz	5C/135 Annex6, 5C/158	議長報告に添付 5C/192 Annex 6
5C/TEMP/81	WG5C-3	Reply liaison statement to Working Party 7C - WRC-23 agenda item 1.14: Fixed Service system characteristics to be used for sharing and compatibility studies in the frequency range 231.5-252 GHz	5C/176	7C/196

文書番号	担当 WG	題名	入力文書	処理
5C/TEMP/82	WG5C-3	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[FS.Conditions>275GHz] - Assessment of mitigation techniques and specific conditions to be applied to the fixed service applications in the frequency bands 296-306 GHz, 313-318 GHz and 333 356 GHz, to ensure the protection of Earth exploration-satellite service (passive) applications in accordance with RR No. 5.564A	5C/135 Annex14, 5C/162, 5C/173	議長報告に添付 5C/192 Annex 14
5C/TEMP83	WG5C-3	Working document toward a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[EESS-Protection] - Unwanted emission levels outside the allocated bands for FS systems operating in bands from 94.1 GHz to 174.8 GHz for the protection of EESS (passive) operating in adjacent bands where footnote RR No. 5.340 applies	5C/135 Annex15, 5C/161, 169	議長報告に添付 5C/192 Annex 15
5C/TEMP84	WG5C-2	Draft reply liaison statement to Working Party 7B (copy for information to Working Parties 3M, 5A, 7C and 7D) - WRC-23 agenda item 1.13 - Characteristics and protection criteria for fixed service systems operating in the frequency band 14.8-15.35 GHz	5C/135 Annex16, 5C/157	7B/118, 3M/188, 5A/366, 7C/197, 7D/81
5C/TEMP85	WG5C-2	Draft reply liaison statement to Working Party 4A (copy for information to Working Parties 3M, 5A and 5B) - WRC-23 agenda item 1.15 - Additional characteristics for fixed service systems operating in the frequency band 12.75-13.25 GHz	5C/148, 5C/163	4A/265, 3M/184, 5A/362, 5B/347
5C/TEMP86	Ad-hoc AI 9.1	[Draft] Terms of Reference - Correspondence Group on WRC-23 agenda item 9.1, topic c) - Study the use of International Mobile Telecommunication system for fixed wireless broadband in the frequency bands allocated to the fixed services on primary basis, in accordance with Resolution 175 (WRC-19)	—	議長報告に添付 5C/192 Annex 16
5C/TEMP87	Ad-hoc AI 9.1	Report of the meeting on WRC-23 agenda item 9.1 topic c) - Study the use of International Mobile Telecommunication systems for fixed wireless broadband in the frequency bands allocated to the fixed service on a primary basis, in accordance with Resolution 175 (WRC-19)	—	議長報告に添付 5C/192 Annex 16
5C/TEMP88	WG5C-3	Working Group 5C-3 Meeting Report - Systems above 86 GHz, and interdisciplinary topics	—	WP5C Sharepoint サイトに掲載

6.4 日程表

日時		Plenary	WG5C-1	WG5C-2	WG5C-3	WG5C-4	5A/5C Ad-hoc
4月28日 (水)	12:00~						
	13:35~	(1)					
	15:10~					(1)	
4月29日 (水)	12:00~			(1)			
	13:35~				(1)		
	15:10~		(1)				
4月30日 (金)	12:00~						(1)
	13:35~		(2)				
	15:10~			(2)			
5月3日 (月)	12:00~					(2)	
	13:35~				(2)		
	15:10~			(3)			
5月4日 (火)	12:00~			(4)			
	13:35~				(3)		
	15:10~		(3)				
5月5日 (水)	12:00~					(3)	
	13:35~						(2)
	15:10~			(5)			
5月6日 (木)	12:00~				(4)		
	13:35~				(5)		
	15:10~			(6)			
5月7日 (金)	12:00~		(4)				
	13:35~						(3)
	15:10~					(4)	
5月10日 (月)	12:00~			(7)			
	13:35~				(6)		
	15:10~	(2)					
5月11日 (火)	12:00~	(3)					
	13:35~						
	15:10~						

6.5 日本代表団 一覧

氏名	所属
熊原 渉	総務省 総合通信基盤局 電波部基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
内田 寛武	総務省 総合通信基盤局 電波部基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
新 博行	株式会社 NTT ドコモ
小川 博世	国立研究開発法人情報通信研究機構
坂田 研太郎	ソフトバンク株式会社
大槻 信也	日本電信電話株式会社
加藤 辰典	日本放送協会
斎藤 進	日本放送協会
横畑 和典	日本放送協会
伊藤 史人	日本放送協会
片山 麻衣子	Washington CORE LLC